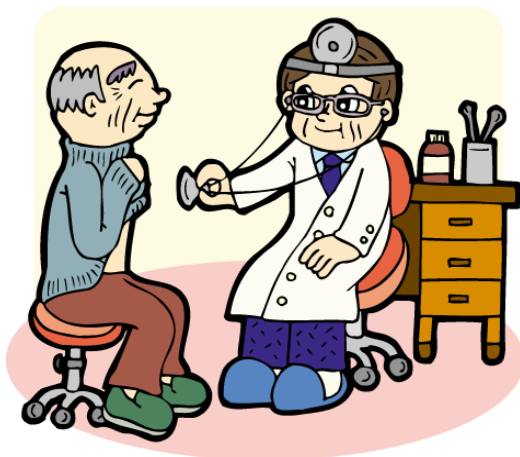


前立腺PSA検査地域連携パスフローチャート

(かかりつけ医用)

連携医(かかりつけ医)

50歳以上の男性に前立腺がん検査の必要性を患者用パスを用いて説明



PSA検査結果(4.0ng/ml以上であれば)でパス病院へ紹介するか否かを患者と相談。

《パス病院へ紹介する場合》

1. 「患者用パス」を発行し患者へ渡す。
2. 前立腺PSA検査地域連携パス(診療情報提供書)を発行し、パス病院・地域医療連携室へFAXする。
3. パス病院から外来予約票を受け取り、患者へ手渡す。

パス病院(市立東大阪医療センター)

診察・採血

結果 ⇒ 生検の必要性を判断

生検結果で陽性の場合
診療情報提供書にて
連携医へ報告し、治療開始する。

生検結果で陰性の場合
担当医は、生検結果と連携について患者に説明し診療情報提供書を作成
地域医療連携室に連絡する。

地域医療連携室の担当者は、患者へ補足説明を行う。
患者へPSAフォロー冊子を渡す。連携医へ連絡し、診療情報提供書と
PSAフォロー計画書を郵送する。